

常葉だより

学 校 法 人 常 葉 大 学
 常 葉 大 学 ・ 大 学 院
 常 葉 大 学 短 期 大 学 部
 常 葉 大 学 附 属 常 葉 中 学 校 ・ 高 等 学 校
 常 葉 大 学 附 属 橘 中 学 校 ・ 高 等 学 校
 常 葉 大 学 附 属 菊 川 中 学 校 ・ 高 等 学 校
 常 葉 大 学 教 育 学 部 附 属 橘 小 学 校
 幼 保 連 携 型 認 定 こ と も 園 常 葉 大 学 附 属 と こ は 幼 稚 園
 幼 保 連 携 型 認 定 こ と も 園 常 葉 大 学 附 属 た ち ば な 幼 稚 園
 常 葉 大 学 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 病 院

第232号




「新しい橘の
 第2ステージへ」
 常葉大学附属
 橘中・高等学校
 校長
 関本和彦



これからの橘中高等学校は、皆様のご期待にお応え
 できるような学校作りを目指して参りたいと思いま
 すので、今後とも「新しい橘の第2ステージ」にご支援
 ・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

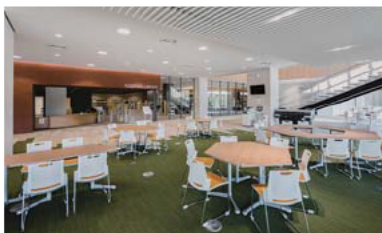
本校では、今年度から、英数科を中心に「橘クエスト」
 (課題探求授業)を展開しています。特に新聞を活用し
 た授業NIEは、県下2校の教育指定実践校に選ば
 れ、来年度から指定校としての授業を開始します。そ
 の他、W.E.環境を整え、タブレットを使用するClassi
 (ポートフォリオの積み重ね)、スタディーサプリ(4
 万本を超える動画授業)、大手英会話学校ベルリッツ
 の導入も開始しました。そして、昨年度から附属高校
 になったメリットを生かし、今年度は14項目の高大連
 携事業を積極的に推進してきました。今後も常葉大学
 のアドミッションポリシーに沿うような生徒の育成
 を目指していきたいと思っています。

断力・思考力」の他、英語4技能も求められていく時代
 に入っていきます。その他、アクティブラーニング・中
 学の道徳の教科化も含めて、教育界に新しい波がやっ
 て来ていることは間違いありません。その波に對し
 て、いかに早く対応しているかどうか、が、「私立学校の
 評価」につながるものと確信しています。

橘中・高等学校は一昨年の冬に、新校舎
 が、そして昨年の冬に人工芝のグラウンド
 が完成し、完全リニューアルという形にな
 りました。まずは、ここに至るまでに、多く
 の方々のご支援・ご協力に心から感謝を申
 上げます。本当にありがとうございます。
 さて、そうは言っても、学校で何よりも大
 切なものは「生徒をいかに伸ばすか」です。
 つまり、教育の中身を時代のニーズと共に
 変化させ、より良い教育内容を提供しなけ
 ればならないと思っています。新校舎の建
 設が「新しい橘の第1ステージ」であるなら
 ば、中身の部分をどう変えていくか・・・これ
 が、「新しい橘の第2ステージ」であると、私
 は考えています。

特に2020年度から始まる、大学入試
 の新テストにおいては、「問題解決能力・判
 断力・思考力」の他、英語4技能も求められていく時代
 に入っていきます。その他、アクティブラーニング・中
 学の道徳の教科化も含めて、教育界に新しい波がやっ
 て来ていることは間違いありません。その波に對し
 て、いかに早く対応しているかどうか、が、「私立学校の
 評価」につながるものと確信しています。

常葉大学の図書館



常葉大学附属図書館(草薙)は学びと知識の拠点として草薙キャンパスの中心に位置しており、「KUSANAGI LIBRARY」と「KNOWLEDGE SQUARE」という学習空間を併せて備えています。「図書館」は学生・教職員はもちろん調査・研究・学習の目的で利用される地域の方も入館可能で、地域に大学の知を発信する役割を担っています。

全学図書館長からのメッセージ

大学での学びは、所与の課題への取り組みを重ねつつ、最終的には自らの問題意識による課題を設定し解決に至ることができるようになるまでを目指します。その学びを支援するのが図書館なのです。

常葉大学では館毎に学部特性に応じた蔵書を揃え、利用者の求めに応じた情報や資料の検索・提供・回答等レファレンスサービスの充実を目指しています。学生が能動的学びに取り組めるような仕掛けも随所にあります。「知の源」として、大いに活用してください。



常葉大学 図書館長
大川 信子

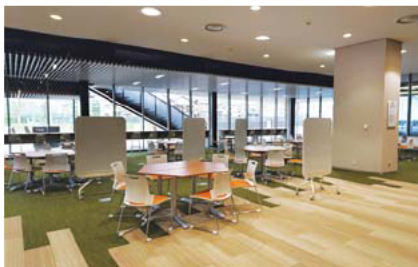
KNOWLEDGE SQUARE ラーニングcommons

「ラーニング・commons」とは、学生達が集まり、電子情報や印刷物等様々な情報源による情報を用いて主体的に学習・議論をする「場」の提供を目的として設けられた学習空間です。KNOWLEDGE SQUARE では、3つのエリアで学生達の学びを支援しています。



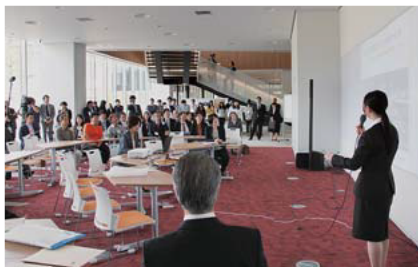
グループワークエリア 緑

可動式の机・椅子を自由に組み合わせ、グループでの自由な学びが可能。備え付けの可動式ホワイトボードを活用することで、活発に議論をする場にもなります。



グループワークエリア 赤

グループワークエリア緑と同様のエリアですが、より開放的な空間。プロジェクターのスクリーンが備えてあり、セミナーやちょっとした講演会も開けます。



グループスタディエリア

カーテンにより仕切られており、グループ、ゼミ、クラス単位での利用が可能。ホワイトボードやディスプレイが備えてあり、多様な学習ができるエリアです。



貸出しているもの

- ノートパソコン
- ホワイトボード
- 電子黒板
- プロジェクタ

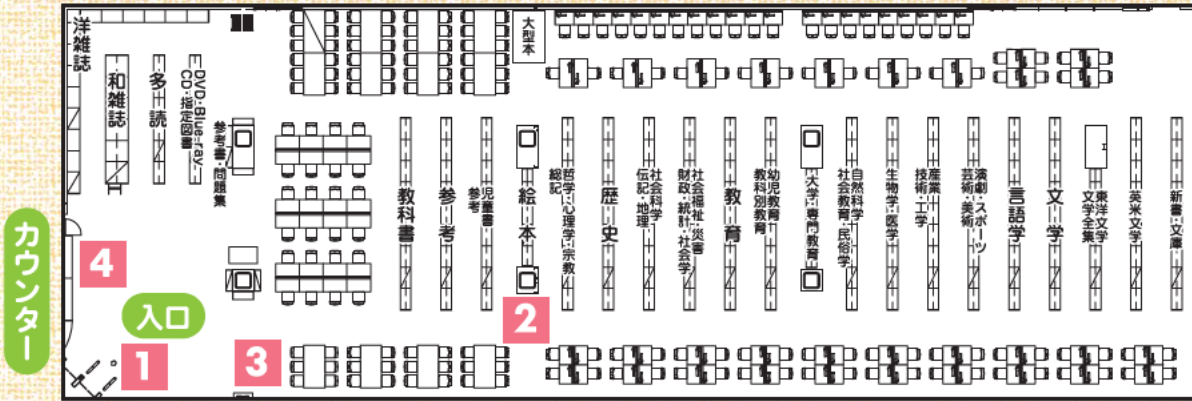
利用可能なもの

- プリンター
- 大判プリンター ※有料

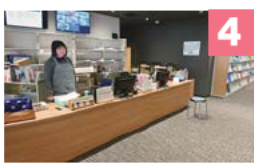
「知の拠点」

KUSANAGI LIBRARY 図書館

図書館では、書籍・雑誌に加えBD・DVD等マルチメディアのコーナーも設置。
また、館内のパソコンにてインターネットでの情報検索やマルチメディアの視聴が可能です。



※図書・視聴覚資料は「日本十進分類法」で分類され、「請求番号順」で書架に並んでいます。



本を返す際はカウンター
の職員へお声掛けください。
また、館内の利用等で不明
な点がありましたら、お問
い合わせください。



学生・教職員で本を借りる
際は、自動貸出機もしくは
カウンターにて手続きをし
てください。



館内には蔵書検索のできる
端末が設置してあります。
また、オンライン蔵書目録
「OPAC」にてネット上か
ら検索もできます。



入口ゲートの読取機に学生
証・教職員証をあてると
ゲートが開き、入館できま
す。忘れた場合はカウン
ターへ。

利用方法

常葉大学附属図書館（草薙）

開館時間	月～金	8:45～20:00 (授業のない期間は17:00まで)
	土	8:45～17:00

※開館状況は図書館HPの図書館カレンダーでご確認ください

● 学外の方の利用(一般利用)について
身分を証明するもの(運転免許証等)を
ご用意ください(閲覧のみ)

開館時間 月～金曜日
8時45分～17時

瀬名図書館は美術と音楽の分野を中心に資料を収集しています。また、草薙キャンパスの諸学部の資料図書館としての機能も併せています。ラーニングスペースやキャナル席は、調べものはもちろんレポート作成や読書にも集中できる、静かで快適な空間です。それぞれのスタイルにあわせた、自由な学びの場を提供しています。



充実した楽譜書架



朝日の差し込むラーニングスペース

瀬名図書館

看護学、理学療法学に関する図書を収集し、配架しています。閲覧席は、一部を除き、すべて左右にすりガラス風の仕切りがあります。そのため仕切りによる圧迫感を感じることなく、かつ隣の席を気にせず学習ができる環境が整っています。



水落図書館

開館時間 月～金曜日
9時～21時
(授業期間中)

水落図書館は、本館5階にある見晴らしのよい図書館です。法学、看護学、理学療法学に関する図書を収集し、配架しています。

この他にも、人気小説や話題の新作も多数配架され、学生に便利で快適な環境を提供しています。

浜松図書館には、学部関連の専門分野を中心に、学術書、雑誌、そしてデータベース・Eジャーナルを豊富に取り揃えています。特に、医療・スポーツ・栄養・心理系分野の資料が充実しており、学生は、これらの資料を実習や資格取得に活用して勉学に励んでいます。



浜松図書館

開館時間 月～金曜日
9時～19時
(開講期間中)

浜松キャンパス

常葉大学 常葉大学短期大学部

草薙キャンパス

プレ金大学、草薙キャンパスにて開催

プレミアムフライデーと連動して、社会人に対し新たな学びの場
の機会を大学が提供する「プレ金
大学」が11月30日に本学草薙キャン
パスにて開催されました。

「プレ金大学」は、プレミアムフ
ライデーとリカレント教育（社会人
の学び直し）を推進する経済産業省
が主導し、全国的に取り組みをはじ
めた事業です。

働き方改革により仕事を早めに終
えた仕事帰りの社会人に向けて、事
業に協力する全国の各大学が講座やイベントを行います。
静岡県内では本学が「キャンパスのイノベーションを通じた課題解決と地域活
性」静岡人材の育成と市民開放型キャンパスのカタチ」と題して開催し、市民
公開型のクロストークを行いました。



草薙キャンパス

富士山麓A&Sにて

常葉の研究発表を行いました

静岡県中東部の高等教育機関が一堂に会し、日頃の研究
成果を発表する「富士山麓アカデミック&サイエンスフェ
ア2018」が11月28日、富士市柳島のふじさんめがせ
で開催されました。



学生が主体となり、文系、理系を問わず多彩な専門分野
の研究発表が集まることで、学生
同士の交流や研究推進の場となる
ことを目的とした当フェアでは、
常葉大学のほか、6校の大学、短大、
専門学校が出席。機械、環境、生物、
食品、社会等、19の分野から合計133題の研究発表が行われ
ました。

常葉大学からは23題の発表と、2つのイベントエリアが
出展され、多様な専門分野を備えた本学の研究活動を広く
知っていただく機会となりました。
学生達は研究の要点をまとめたポスター発表により自分
達の研究を来場者に説明したり、他校の研究発表を聞いて
回ったりと、積極的に異分野交流を行いました。



造形学部 瀬名キャンパス

巨大絵馬を静岡浅間神社へ 平成最後の奉納

創立者が常葉教育の第一歩をしるした学園にとって縁ある静岡浅間
神社より、縦横3メートル弱の巨大な干支の絵馬制作が本年も依頼さ
れ、平成最後の奉納をしました。造形学部2年生有志が、授業の合同
を活用しテーマ決定、デザイン、制作と約3週間で完成させました。
初春とお祝いのイメージとして赤富士山と紅梅、そして祈念の意とし
て神の化身の「白い亥」をデザインし、猪突猪勇（ちよとつきゆう）、
大きな猪がまっしぐら明るい年に向けて躍動する願いを込めました。
常葉大学の教育理念「未
来志向」と「地域貢献」を
造形活動により実践した学
生たちです。成人の日まで
境内に設置されていたこと
もあり、成人の記念に自分
たちが描いた絵馬をバック
に「インスタ映え」記念撮
影をする学生もいました。



大拜殿と比べると分かる絵馬の大きさ

健康科学部

シルク・ドゥ・ソレイユに 一輪車パフォーマーとして出演

平成30年9月23日、サウジアラビアの首都リヤドで同国の建国88周
年を記念して行われたシルク・ドゥ・ソレイユの特別公演に、健康科
学部看護学科1年の瀧口夏緒さんと短期大学部保育科1年の山本珠
さんが一輪車パフォーマーとして出演しました。

男女差が激しいサウジアラビアでは、この公演
で初めて男女が一緒に舞台上に立ち演技をし、また
初めて男女が隣に座り舞台演技を鑑賞することが
許され、同国のこれからのル
ールが変わっていく先駆けとなる
、歴史に残るものでした。
今回の公演を通して、瀧口さ
んは「出演したプロのパフォー
マーからたくさん刺激を受
け、充実した時間を過ごすこ
とができた」と話しています。

短期大学部 保育科



会場の様子



水落キャンパス

第1回水落祭開催



実行委員集合写真

平成30
年10月27日、水落
キャンパス
誕生6年目
で初めての
大学祭とな
る「第1回
水落祭」を
開催しまし
た。初日は
雨の影響も
懸念されま
したが、昼
前からは天
気も回復
し、2日間で約800人の来場
者がありました。
特設ステージではお笑い芸人
らによるショータイムや学生に
よるパフォーマンズなどで笑い
声や歓声があがり、大いに盛り
上がりを見せました。また本
キャンパスの学びをテーマにし
た各学部学科の展示、体験コー
ナーも好評で、多くの方が足を
運んでいました。
実行委員長の法学部2年石黒
萌真さんは「今回、多くの方の
ご協力により最高の船出となり
ました。来年度の第2回水落祭
は更にパワーアップし、草薙
浜松キャン
パスにも
も負けな
い盛り上
がりを見
せたい」と
話して
います。



エントランスの様子

水落キャンパス

表彰 防犯サークルJUSTICE 静岡中央警察署長感謝状



主に法学部の学生有志からなる防犯サークル JUSTICE は、防犯啓発のピラ撒き、ランニングパトロール、児童の下校見守りなど地域防犯活動への貢献が評価され、静岡中央警察署長より感謝状を贈呈されました。

演奏会の開催に際し、関係者の皆様に多大なるご支援、ご協力を賜りました。また、当日はたくさんの方にご来場いただきました。厚く御礼申し上げます。本学音楽科ウインド・オーケストラは、管弦打楽器専攻学生と指導講師陣で構成されています。演奏会では、指揮者の野津如弘先生の指導のもと、日々研鑽を積んだ成果を披露しました。附属橋中学校・高等学校吹奏楽部との合同演奏もあり、「ご来場いただきました皆様から、盛んな拍手を送られ、ウインド・オーケストラの魅力が味わえたことのできた演奏会となりました。音楽科は、定期的な演奏会のほか、「音楽鑑賞教室」など音楽による地域貢献にも尽力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



短期大学部 音楽科 第9回常葉大学短期大学部音楽科 ウインド・オーケストラ定期演奏会

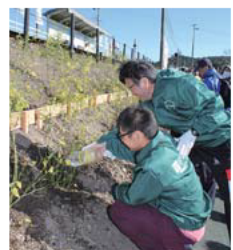
2019年1月31日、静岡音楽館Aオーにおいて、「第9回常葉大学短期大学部音楽科ウインド・オーケストラ定期演奏会」が開催され、盛況裡に終了しました。

長崎ゼミを中心とした学生グループが、「掛川城プロジェクト」に、SNSでの広告活動や専用ホームページ上のアイコン作成等で支援しました。

経営学部 健康プロデュース学部 学生がWeb制作で 地域イベント支援

11月23日、これも健康学科中村ゼミと磯谷ゼミの学生および現代社会研究会の学生17名が、天竜浜名湖鉄道の常葉大学前駅沿線に「ヤマブキ」を植樹しました。本活動は、「天浜線 人と時代をつなぐ花のリレープロジェクト」の一環で行われ、学生のほか、協力団体の関係者160名が参加しました。

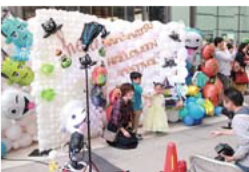
健康プロデュース学部 浜松キャンパス 常葉大学前駅に学生たちが花を植樹



本イベントには、目標の7千名を超える約1万3千名が来訪しました。

中津川ゼミの学生23名が、10月27日に浜松市街中にて「第4回はままつハロウィンフェスティバル」の絵本のまち2018」を開催しました。本イベントは、若者人口の流出や街中の来客者減少の問題に対し、学生が主体性をもって働きかけることを目的としております。

経営学部 浜松キャンパス 学生による「第4回はままつ ハロウィンフェスティバル」開催



2018年 常葉10大ニュース (1月~12月)

- 1 静岡草薙キャンパス開学 [4月]
- 2 常葉大学教育学部附属橋小学校 創立40周年
- 3 幼保連携型認定こども園 常葉大学附属とこは幼稚園、同たちは幼稚園に移行 [4月]
- 4 常葉大学リハビリテーション病院、法人の附随事業として認可、名称変更 [4月]
- 5 建学の精神の再検証 「より高きを目指して～ Learning for Life～」
- 6 橋中学・高等学校校長に関本和彦氏、橋小学校長に勝俣元雅氏、たちはな幼稚園園長に大石成伸氏が就任 [4月]
- 7 静岡草薙キャンパス内に「独立行政法人教職員支援機構 常葉大学センター」を開設 [10月]
- 8 菊川中学・高等学校 校舎改築に着手
- 9 静岡水落キャンパス、静岡草薙キャンパスにて初めての大学祭を実施 [10・11月]

常葉大学合同 新年祝賀パーティー開催 平成31年1月8日(火) 於:常葉大学静岡草薙キャンパス



- 10 スポーツ・文化における活躍 (全国大会出場等)
常葉高校 (新体操部…第33回全国高等学校新体操選抜大会 団体 優勝) (体操部・バスケットボール部)
常葉中学 (新体操部…第49回全国中学校新体操選手権大会 団体 優勝) (体操部)
橋高校 (女子サッカー)
橋中学 (女子サッカー)
菊川高校 (硬式野球部…第100回全国高等学校野球選手権記念大会 ベスト16) (第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」ベスト8)
(陸上競技部・空手道部・バドミントン部・水泳部)
菊川中学 (空手道部・バドミントン部)
橋小 「てのひら文庫賞」学校賞…優秀校、同個人賞…最優秀賞
常葉大学 (サッカー部・剣道部・男子バスケットボール部・小太刀護身道部・陸上競技部・水泳部)
常葉大学造形学部 第109回二科展 デザイン部門 大賞

常葉大学附属常葉中学校・高等学校

常葉高校 総合進学コース沖縄修学旅行



12月12日から12月15日まで、2年2組から5組117名の生徒は3泊4日で沖縄へ修学旅行に行きました。首里城や美ら海水族館をはじめ、沖縄ならではの文化、自然を楽しみ、多くの感動を得ることができる最高の修学旅行でした。また、平和記念公園の展示や、ガマなどの戦跡を実際に見ることで戦争の悲惨さや生きることの有難さを感じる有意義な研修となりました。

常葉高校 GSコース2年生イギリス研修

GSコース2年生は9月25日から18日間、イギリス研修へ行ってきました。研修中はパンブリーという街の高校へ通い、英語の授業を受けるほか、現地の生徒と授業に参加したり、日本の文化を紹介したりしました。また、学生の街オックスフォードやシェイクスピアの生誕地ストラットフォードアポンエイボーン、そして王家ゆかりのハンプトンコート宮殿や、ウィンザー城を訪れ、イギリスの歴史や文化を学びました。

今まで学んできた英語を実践に移し、初めは緊張していましたが、徐々にホストファミリーや現地の生徒たちと打ち解け、会話を楽しむことが出来ました。また、異文化を体験した一方、日本について改めて考える機会となりました。すべての行程を終え、生徒は一回り大きく成長できました。



常葉中高 体育祭

10月18日、草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」にて中学・高校合同の体育祭が行われました。今年の優勝は「青組」でしたが、生徒達は勝ち負けではなく、クラスのチームワークや思いやりを学ぶことができ、笑顔いっぱい素晴らしい行事となりました。



常葉中学 朝霧キャンプ

10月22・23日青空の下、縦割り活動の1つ、朝霧キャンプが行われました。昨年は台風で中止となり、キャンプ経験者が3年生しかないという不安の中、1・2年生という不安の、カレー作りやウォークラリー等をスムーズにこなしてくれる姿が印象的でした。目標である「自分の責任を果たす」や「協力し合う」も達成でき、各自それぞれが成長できました。常葉中学伝統のキャンプを通して、より絆が深められた1泊2日になりました。



常葉高校 家庭研究部 そば打ち体験

年越しを目前に控えた12月10日、本校の家庭研究部がそば打ち体験を行いました。当日は「そば打ち同好会」から9名の講師の方が来校してくださいました。自分達で打ったそばは、口の中ですべても良い香りが、格別の味がしました。そば、日本の食文化の魅力について改めて感じてくれる、とても良い機会となりました。



打っている間もそば粉のいい香りが...
ちの奥深さ、日本の食文化の魅力について改めて感じてくれる、とても良い機会となりました。

常葉高校 GS英語スピーチコンテスト

11月7日にGS英語スピーチコンテストが行われました。GSコース生徒3学年全員、このコンテストに向けて1学期から少しずつ準備をしてきました。各学年で予選を終えた後、代表者はさらに入念な準備と練習を重ね、当日は緊張しながらも堂々とした発表をすることができました。各学年の優秀者が審査員から発表されると、大きな拍手が起きました。また、4月から本校に滞在しているドイツ人留学生によるスピーチ、オマハ市への留学から戻った3年生の留学体験報告や3学年縦割りグループによる交流会も大変盛り上がり、充実したコース集会となりました。



常葉中学 合唱コンクール

12月13日、中学の合唱コンクールが行われました。授業以外にも朝や帰りの時間を使って練習して臨んだ本番、皆緊張した面持ちでしたが、どのクラスもきれいな歌声を響かせていました。最後に、「大切なもの」を全員で歌い、閉会となりました。どのクラスの生徒も、全力を尽くした達成感に満ちた表情で帰路につきました。



優勝は3年2組でした

常葉大学附属橘中学校・高等学校

橘高校

高校2年生修学旅行

マレーシア・シンガポール修学旅行(英数科)

11月6日～10日に、英数科2年生54名が4泊5日の日程でマレーシア・シンガポールを訪れました。3日目の現地校交流では、マレーシアの学生との交流の中で、異文化をより身近で体感し、学びました。4日目のシンガポールの班別研修では、日ごろ学んでいる英語が海外で通用するか、緊張しながらシンガポールの市内を散策しました。仲間と協力しやり遂げた達成感、他では味わえないものでした。慣れない外国の言語や食事に苦戦することもありましたが、世界に目を向けていく大きなきっかけにもなった充実の修学旅行でした。



海外で通用するか、緊張しながらシンガポールの市内を散策しました。仲間と協力しやり遂げた達成感、他では味わえないものでした。慣れない外国の言語や食事に苦戦することもありましたが、世界に目を向けていく大きなきっかけにもなった充実の修学旅行でした。

沖縄修学旅行(普通科)

12月10日～15日にかけて、常葉大学附属橘高校2年生254名が3グループに分かれて3泊4日で沖縄へ修学旅行に赴きました。第二次世界大戦当時のままの戦跡や、風光明媚な景勝の地を訪れ、特産の料理に舌鼓を打ちつつ、沖縄の社会問題にも思いを馳せる意義深い研修でした。沖縄の光と影を体感し、戦争の悲惨さを直視し、改めて平和を祈念する契機となった旅行でした。



橘高校

吹奏楽専攻定期演奏会

1月6日、清水文化会館マリナーにて、吹奏楽専攻による第9回定期演奏会が開催され、今年度は1000人を超えるお客様にお越しいただきました。第1部は、夏のコンクールで県大会賞を獲得した課題曲と自由曲をはじめとしたクラシックステージ、第2部は今回初の試みであるOB・OG合同ステージ、第3部は流行の曲を取り入れて2018年を振り返るポップステージで、吹奏楽専攻生の思いと工夫の詰まった素晴らしい演奏会となりました。



橘中学

中等部総合学習 たちばな幼稚園 職業体験 亀爪園訪問

本校では、職業観の醸成を目的に、中3年生はたちばな幼稚園へ、1年生は亀爪園へ訪問をさせていたっており、また、今年度より2年生は職場体験を実施しました。事前に子どもや高齢者の方のついで学習をさせていただいたものの、現地に行ってみれば具体的にどのように動いているのか、生徒達には戸惑いも見られました。しかしながら、園児さんは、遊ぼうと目を輝かせて手を引っ張り、お年寄りの方がとても嬉しそうに会話してくださりと、あたたく迎えられました。2年生は職場体験で実際に働いてみて自分の将来をより具体的に想像できました。どれも日常の授業ではできない経験をさせていただき、生徒達には大変参考になったと思います。



がんばる卒業生

～人生を楽しむために「今」、努力を～

●どんな仕事?

救 急救命センターは、「体の不調があったとき、困ったらず相談してもらい場所」というイメージです。軽度なものから、時には重度のものまでさまざまな患者さんが救急救命センターに日々訪れます。その患者さんに対して処置をし、その後適切な科に引き継ぐのが主な仕事です。

患者さんは、例えば「私は外科の患者です。」と言って病院を訪れるわけではありません。一口に「おなか痛い」と言っても何が原因なのか最初はわかりません。それに対して患者さんの話を聞いたり、検査をしたりすることで適切な科に引き継いでいきます。もちろん、命が危ういような状態にある場合にはその場で処置をしていきます。

●中学・高校時代の思い出と仕事へのつながり

中学校から橘にお世話になり、「登竜泉」(平成8年3月廃寮)で寮生活を送っていました。寮生活では起る時間や、勉強を始める時間などが決められていますが、規則正しい生活を送れたことが力をつけていく上でとても大切だったと思います。

高校では英数科に所属していました。英数科では毎日遅くまで授業を受けていた思い出があります。それが学力を上げていくために大きな助けになりました。また、先生方に大変お世話になり、特に医学部に入るための勉強をはじめ、様々なことに対して相談に

常葉学園橘中学校・橘高等学校 (英数科)

平成6年度卒業 小柴 真一 さん

静岡済生会総合病院 救急救命センター長
(国立弘前大学医学部卒 日本救急医学会救急科専門医
日本麻酔科学会麻酔科指導医・専門医)



乗ってもらってました。医師になるという目標を見つけたのがこのころで、その目標に対して一心に頑張っていくための環境が整っていました。

また、友人、先輩・後輩とのかかわりを通し、コミュニケーション力を磨くことができました。医師にとって、コミュニケーション力はとても大切なものです。医師の出す指示を受けて実際に動いてくれるのは看護師さんであったり、理学療法士さんであったり、薬剤師さんであったりします。多くの人がその力を十分に発揮し、気持ちよく仕事をするうえで大切なのがコミュニケーション。そして、それが患者さんのため、より良い医療につながっていきます。そう考える素地が橘での生活でつくられたのだと思います。「自分さえよければいい」ではなく、「相手よし、自分よし、社会よし」そんなよい関係を作ることができたらと常に思いながら仕事をしています。

●これからの夢・目標

「みんなが安心して暮らせる静岡市に」これが今取り組んでいるテーマです。救急医療にはまだまだ改善できる点が多くあります。その改善すべき点をひとつひとつクリアしていくことで、みんなが安心して暮ら

せる静岡市を作ることができると考えています。しかしそれはひとりではできません。医療行為を行うスタッフや研修医、ドクターとともに、患者さんに「いつまでも安心な医療」を提供できるシステムを作り上げていくことが重要だと考えています。ひとりが努力して成り立っている部門では、そのひとりがいなくなったら機能なくなってしまいます。そうならないためにも良いスタッフを輩出し続けられる環境を整えたいと思っています。

●後輩たちへ

中学・高校時代の努力はその後の人生に大きな影響を与えるものだと思います。人生の中でたった6年間しかない中学・高校での時間は一番の頑張りのころ。頑張らないのはもったいないです。目標があれば、それに向かって筋道を立て、何をすればいいか具体的に考えて頑張ることが大切だと思います。人生を楽しむには知識と力が必要だと思います。社会に出て主体的に仕事をしたりしていくために今の努力を大切に自分のレベルを上げていってください。

常葉大学附属菊川中学校・高等学校

菊川中高

中学3年生修学旅行



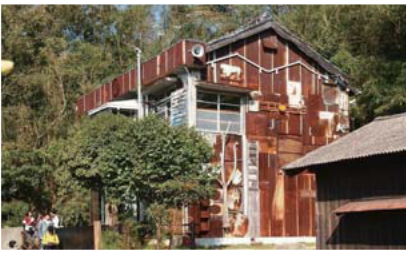
中学3年生は、11月6日から9日まで九州に行ってきました。長崎での平和集会では祈りを込めて「平和の鐘」を全員で合唱し、千羽鶴を奉納しました。台風の影響で上陸はできませんでしたが、世界遺産「軍艦島」クルーズなどの歴史遺産の見学、班別での楽しい市内研修、菊川市の観光大使としての活動なども行い、思い出に残る4日間となりました。

高校普通科修学旅行



高校普通科は、12月15日からグアム修学旅行に行ってきました。グアムの文化や歴史を学び、マリンスポーツをしたり、ココス島に行くなど、گرامを満喫することができました。

高校・美術デザイン科修学旅行



高校・美術デザイン科2年生は、10月15日から香川・岡山・兵庫方面へ修学旅行に行ってきました。1日目は豊島美術館へ、2日目は大原美術館を満喫。3日目は直島に行き、地中美術館も鑑賞しました。4日目は兵庫に入り、渦潮見学、大塚国際美術館研修、5日目は国宝姫路城見学と、刺激や感動が今後の創作活動につながるような素晴らしい4泊5日でした。

美術・デザイン科研修旅行



美術・デザイン科は12月14日から5泊7日のイタリア研修旅行に行ってきました。1日目はミラノ市内研修、大聖堂や最後の晩餐を鑑賞。2日目はフィレンツェ市内研修をし、ウフィツィ美術館を堪能しました。3日目はローマへ行き、バチカン美術館の素晴らしい作品に感動しました。4日目はトリノの泉やコロッセオなどローマ市内を観光しました。

菊川中学

体験学習



11月30日、学年ごとに体験学習が行われました。1年生は、「森町体験の里・アクティビティ」で陶芸作品、鬼瓦作りを経験しました。2年生は、「未来授業」と題して、グループに分かれ様々な業種の方のお話を伺いました。3年生は、「常葉大学静岡草薙キャンパス」へ出かけ、実際に大学の先生の授業の授業を体験しました。生徒一人一人が地域のことや将来のことを考える貴重な体験となりました。

合唱祭



12月12日、1年生全クラス参加の合唱祭が行われました。声量、音程、情緒全てがすばらしく、審査員の先生方を悩ませました。

菊川高校

市役所に大型壁画



菊川高校美術・デザイン科が、NPO法人アートコラールきくがわとともに、菊川市役所の外壁に大型ウォールペイントを完成させました。市のゆるキャラ「きくのん」を中心に、特産品のメロン、トマト、茶、くずしやリシャリが描かれています。

美術・デザイン科第45回卒業制作展示



12月14日、23日に常葉美術館、2月7日、12日にクリート浜松で、第45回卒業制作展が行われました。美術・デザイン科3年間の集大成であり、見応えのある作品ばかりでした。

年末特別警戒ランニングパトロール



12月14日、菊川高校野球部、女子バドミントン部、ダンス部の15人が御前崎市からリレーされた「安全・安心をつなぐ」と書かれたタスキをかけ、応援団や陸上部、空手部、テニス部、ソフトボール部、剣道部の生徒の支援を受けながら、菊川高校から菊川警察署まで交通安全と防犯の呼びかけをしながら走りまわりました。

常葉大学教育学部附属橘小学校

橘小

協力して取り組んだ運動会

10月8日に運動会を行いました。節目の40回を迎え、「ナンバー1!協力すれば、夢じゃない!」をスローガンに、赤・白・青の3組に分かれた児童の声や障害物走、大玉ころがしなどの競技だけでなく、各学年の演技も、本番に向けて一生懸命取り組んできた練習の成果が十二分に発揮されていました。

また、徒競走では、どの子も1位を目指して一杯腕を振り、グラウンドを駆け抜けました。そして運動会を締めくくる組体操は「Heroes Symphony」と銘打たれ、5、6年生が「協力」をうたった今回の運動会にふさわしい、まとまりのある演技を見せてくれました。



橘小 気持ちを新たに 書初め会

1月8日に書初め会を行いました。今年も書家の朝比奈國雄先生による大書が行われ、「笑」「笑」の2文字を書き上げました。その後は各学年に分かれ、1、2年生は硬筆、3〜6年生は毛筆でそれぞれの課題に向かい、真剣に取り組みました。



橘小

わくわくドキドキの たちばなふれあい祭り

11月3日にたちばなふれあい祭りを行いました。絵本作家こんのひとみさんをゲストに迎え、約1時間30分の感動的なステージからスタートしました。その後は、PTAの方や、保護者の方々の協力の下、寄付によるパザー販売、古本市が行われました。また高学年によるゲームコーナーや、教員による各種出店も、祭りを盛り上げていました。



子どもたちは、決められたお小遣いの中から何をかうか考えながら楽しんでいました。ステージや、買った物から子どもたちは多くのことを学びました。

橘小

美しいハーモニーが響く オークストラ学習発表会

12月11日に清水文化会館マリナートで、第35回オークストラ学習発表会を行いました。1年間のオークストラ学習の集大成を見せるこの日のために、子どもたちは一生懸命練習に励んできました。そして、本番では緊張した面持ちながらも、練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい演奏を披露することができました。



最後に6年生の演奏で1年生から5年生が「Smile Again」を歌い上げ、会場を感動の渦に巻き込みました。

幼保連携型認定こども園 常葉大学附属

ここは幼稚園・たちばな幼稚園

ここは幼



「ゆきだるまつく〜る〜♪」



冬が近づいてきたので、エントランスの壁面も模様替え(〆〆)冬といえは、「ゆき」!「ゆきだるま」と子どもたちの発想から制作が始まりました。

絵の具でベタベタ:雪を表現した土台に、自分で丸を切って、顔を描いた雪だるまをのりで貼りました。寒いからマフラーもあった方がいいというアイデアもあり、毛糸でぐるぐる巻いてあったかくしてあげました。本物のゆきだるまもいつか作れるといいね!

たちばな幼



もちつき



12月14日に幼稚園の園庭でもちつきをしました。重たい杵を持って力強くお餅をついてくれた年長さん。周りで「よいしょ」「よいしょ」と元気いっぱい応援してくれた子どもたち。びよんと伸びるお餅に大興奮でした。保護者の方もお手伝いに来てくださり、とても温かい雰囲気の中でもちつきを行うことができました。

ついたお餅は、磯部もちときな粉もちに変身!つくたてのお餅はとってもおいしかったね!あつという間に完食し、楽しい時間となりました。

法人本部からのメッセージ



常務理事・法人事務局長
木宮 岳志

平成30年度を振り返って

今年度残り少なくなった今、この1年を振り返り、次年度に繋げる主要課題を抽出しようと思います。

第一に、大学の募集状況好転の原因です。これは、いわゆる草薙効果による期待感の高まりに加え、私学助成不交付基準の厳格化及び東京23区内における大学の定員増の抑制という国の政策による影響が大きいと思われます。18歳人口の更なる減少という将来を見据えれば、大学は真剣に教育の質向上に取り組む必要があります。

第二に、大学附属3高校の厳しい募集状況です。これについては、本誌230号でも触れましたが、平成31年度入試でも同様の傾向にあります。これを改善するためには、職員全員が情報・意識共有することが肝要です。各校が各生徒の出口を確実に保証するとともに、自校の強みを客観的に把握し、それを強く発信すべきです。

第三に、ブランド力向上に伴う社会的責任の増加です。本法人は、常葉大学の誕生及び草薙キャンパスの開校により、ブランド力が飛躍的に向上しました。その反面、地域社会の視線は厳しさを増しています。国や自治体からの公共的要請に着実に応えるとともに、コンプライアンスを強化し、地域社会の信頼を高める必要があります。



常葉大学附属常葉中・高等学校



常葉大学附属橋中・高等学校



常葉大学附属菊川中・高等学校



どこはインフォメーション

常葉大	▶一般入試(後期)	出願 2/12~2/26 試験 3/8	常葉大学 静岡草薙キャンパス・浜松キャンパス	*詳細は入学試験要項をご確認ください。
	▶センター試験利用入試(後期)	出願 2/12(火)~26(火) 試験(造形実技のみ)3/8(金)	(造形実技のみ) 静岡草薙キャンパス	
	▶特別入試(社会人入試Ⅱ期・帰国生入試Ⅱ期・外国人留学生入試Ⅱ期)	出願 2/12~2/26 試験 3/8	常葉大学 静岡草薙キャンパス・浜松キャンパス	
短大部	▶一般入試(後期)	出願 2/12(火)~26(火) 試験 3/8(金)	常葉大学 静岡草薙キャンパス・浜松キャンパス	*詳細は入学試験要項をご確認ください。
	▶センター試験利用入試(後期)	出願 2/12(火)~26(火) 試験(音楽科専攻別実技のみ)3/8(金)	(音楽科専攻別実技のみ) 常葉大学 静岡草薙キャンパス	

常葉大学リハビリテーション病院のご案内

病院概要

常葉大学リハビリテーション病院は平成14年、浜松市北区根洗町の地に開院し、西区大山西の地に平成25年11月に新病院を開院しました。

新病院のテーマは「解放感」です。明るく開かれた空間に広がるガラス張りのリハビリテーション室とそれに続くリハビリ遊歩道があります。80床全てが回復期リハビリテーション病棟であり、「日常生活活動の向上」、「寝たきり防止」、「在宅復帰」の3本柱を基本とし、医師、看護師、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士など総勢1300名以上のスタッフが勤務しています。365日、質の高い、充実したリハビリテーション医療が提供できるよう多職種連携によりチーム力向上を図り日々、切磋琢磨しています。平成29年8月には通所リハビリテーションを開院し、介護保険での短時間通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションも実施しています。

MRI、CT、骨密度測定器などを導入し、学校法人の病院として地域の皆様への医療貢献をはじめ、教育、研究にも積極的に取り組んでいます。



診療科

リハビリテーション科／整形外科
内 科／リウマチ科／放射線科

診療受付時間

月曜～金曜 午前 8:30～11:30
(初診受付は11:00まで)
木曜 午後 1:00～4:00
リウマチ専門外来
▶火曜・金曜の午前 8:30～11:30
禁煙外来▶要予約

休診日

土曜日、日曜日、祝日、夏期休暇
年末年始 12月29日～1月3日



看護部のお仕事

回復期リハビリテーション病院では、脳血管障害・骨折の手術を受けた患者様が、低下した機能を再び獲得するためにリハビリテーションを目的として入院されます。

看護師は専門的知識・技術に基づき、患者様が身体的・精神的に入院生活をおくれるように看護を行います。介護福祉士・看護補助者は看護師と共に患者様の食事・排泄・入浴など身の回りの介護を献身的に行い、早期回復と家庭復帰・社会復帰を自指し支援しています。



リハビリテーション科のお仕事

リハビリテーション科では、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のセラピストを中心としたスタッフが、患者様自身の「生きる力」を取り戻すため「リハビリテーション医療の立場から援助する」という姿勢で日々の業務に従事しています。

セラピストはそれぞれの専門分野がありますが、患者様を援助する姿勢・気持ちは同じです。お互いの職種を尊重しあい、各々の専門性を発揮しながら協力し合いチーム医療にあたっています。

介護保険の通所リハビリテーションの利用者様には、「自分を知り自分を活かす」ことができるよう日常生活の中だけでは出来ない能力の獲得・回復の援助をしています。



栄養科のお仕事

当院栄養科の管理栄養士の主な仕事は、患者様の栄養管理です。必要な栄養量にて提供された食事の摂取状況や体重の増減の確認、身体計測、血液データ等も含めて総合的に判断し、栄養評価を定期的に実施しています。こうした栄養評価により、それぞれの患者様に合わせた個別の栄養管理を行っています。

実習病院として

当院は、学校法人常葉大学の実習病院として常葉大学の学生をはじめ県内外の大学、専門学校等からも多くの実習生を受け入れています。看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士を目指す学生の受け入れ人数は年間延べ約800名になります。

また、学校法人の病院であるため近隣の中学校や高等学校等の職場体験等も行い、未来の医療従事者の養成に積極的に協力しております。教育・養成を通じて地域へ貢献することも当院の担う重要な役割と考えております。



学生の実習風景

教育・研究

常葉大学の教員を始め他大学や病院との共同研究や書籍共著も行っており、学会発表にも積極的に参加しております。(平成30年度までの主な共同研究発表)

- ・回復期リハビリテーション病棟協会 第31回研究大会 in 岩手
- ・演題名「当院回復期リハビリテーション病棟における転倒要因の検討」
- ・第33回研究大会 in 舞浜・千葉
- ・演題名「回復期リハビリテーション病棟における転倒を未然に防ぐためのチームアプローチ」
- ・臨床歩行分析研究会 第40回定例会 優秀演題賞受賞 他
- ・(常葉大学健康科学部静岡理学療法学科教員との共同研究発表)